

# 安保廃案へ共闘 野党5党首

民主、維新、共産、生活、社民の野党五党の党首が十九日、盛岡市内で共同記者会見を開き、安全保障関連法案に反対する立場で共闘する考えを表明した。

二十日告示の岩手県知事選を前に、現職達増拓也氏を支援する五党がそろって県内入りし、民主党の岡田克也代表は「知事選での勝利を起爆剤に安保法案を廃案に追い込む」と訴えた。

維新の党の松野頼久代表は衆院での法案の強行採決に五党が一致して反対した経緯に触れ「参院でもしっかり足並みをそろえたい」と強調。共産党の志位和夫

委員長は「安保法案反対を明確にしている達増氏が圧勝すれば、岩手県から平和の声を全国へ発信することになる」と述べた。

今後の野党連携に向けては、岡田氏は「法案阻止に全力を挙げ、成果が上がれば今後の選挙や国会内の共闘につながる」と期待を示した。生活の党の小沢一郎代表は「知事選勝利と法案成立阻止に力を合わせる中から、その他の問題についても協力していく態勢ができあがれば大変、意義がある」と応じた。社民党の吉田忠智党首は「来年夏の参院選では積極的な選挙

協力を進めたい」と述べた。

知事選をめぐることは、与党が支援予定だった参院議員が出馬を断念している。